

「デジカメ回想」

小林 恒量

山田さんが2000年9月に「フォトショップ青空」を開業し、顧客有志が翌2001年6月青空会を設立した頃、職場の友人達（4夫妻）で、一切旅行会社を使用しない「フランス運河の旅」を企画・実行した。

約10ヶ月間準備し、2000年6月17日朝、成田→金浦→ドゴール、12時間後の夕刻フランス・パリに到着、地下鉄経由でパリ市内の三つ星ホテルにチェックインした。

未だ明るい夕刻8時頃から12時過ぎまでレストランでフランス料理とワインで労をねぎらい、翌早朝より旅を開始した。フランスが初めての奥様方もいたので、ルーブル美術館、シャンゼリゼ通り、エッフェル塔、ドゴール広場など市内観光後、ベルサイユ宮殿や、画家の村・バルビゾン、フォンテーヌブロー宮殿をそれぞれ散策し、パリから約180Km南東の小さな街、サン・フロランタンの木造2階建てホテルに到着した。手入れの行き届いた、バラの花に囲まれた大きな庭でワインとフランス料理で2日目を満喫した。

（日本人は数年前に3人ほど来て以来とのことで、大歓迎・大サービスをして戴いた）

ボート係留地で約30分ほど運転方法を教えて戴き、全長13M、全幅3.5Mの大型ボートに（ダブルベッド付きの）3寝室と（ソファベッド付きの）リビングが備わったボートで4夫妻の4泊5日の運河の旅をスタートした。

フランスの何処にするか、10ヶ月間充分調査した。ワイン産地のブルゴーニュでロック（水位調整水門）が少なく移動距離が稼げる（平坦地）がこの小さな田舎町だった。パリからの移動中、広大な田園風景の連続はフランスが農業生産国であることを実感した。

運河の旅は本当に長閑で、ボートは時速8Km以下、ロックの前後150M（？）係留禁止のルールのみで、好きなところに係留し近隣散策や買い出しを兼ねてサイクリングも楽しんだ。調達機会は意外と飲料水が多く、スーパーマーケットの無い村ではミネラルウォーター購入に難儀し、村人にお願ひしたら村の水飲み場に連れて行かれ、恐る恐るペットボトルに詰めて飲料したが誰もお腹を壊す事も無く、田舎は飲料可能な美味しい軟水がある事も発見、嬉しい誤算だった。

4泊5日で約150Kmを移動し、運河から望む風景は素晴らしく、今も脳裏に鮮明に記憶し、旅友と会うと、昨日の事のように語れる体験でした。

旅の様子を数枚添付しました。

001 はサン・フロランタンのボート係留地の様子（貸し出し用ボート）

002 は借りたボート、地上から撮ったロック内のボート全景

003 はブルゴーニュの田園風景

004 はクルージング中の運河風景

005 は宿泊地に選んだ運河夕景

006 は12年後に制作した旅のフォトブック（17年前は高価で纏められなかった）

007 は旅の1年後に企画し、約2年後に纏めた旅行紀

008 は2000年4月に発売された Nikon Coolpix E990 (330万画素)、使用したデジカメ

運河の旅は道路から離れた森や耕作地帯を移動。トラブル発生時、携帯電話でしか船会社と連絡出来無いため、予め日本でレンタルしてきた。アナログ時代で、データ伝送速度は 9600bps であった。毎日現地から画像付きの電子メールを 4 家族と職場の仲間に送った。翌朝には家族や職場の仲間からの返信もあり、インターネット時代の利便性を体感した。

ブルゴーニュは有名なワイン産地で「シャリブ」の地名は白ワインの有名ブランドでもある、毎日フルボトル 2 本と計り売りワイン（2リットルポリタンクに充填）を、一晩で飲み尽くす日々でした。ワインに纏わるもう一つはアビニオンにローマ法王庁が在った時代、法王用ワインが生産され、地下のワインセラーで飲み・購入したワインは別格でした。

サン・フロランタン駅から列車でパリ・リヨン駅に戻り、有名な駅 2 階のレストラン「ルトランブルー」にて、貴族になった気分でキャビヤやフォアグラのフランス料理を堪能し TGV でアビニオンに行った。アビニオン近郊の古代遺跡巡りはビッグバスをチャーターし、8 人乗車の贅沢な観光でした。

（ポン・デュ・ガール、オランジュ凱旋門、オランジュ円形劇場、シャトヌフ・デュ・パブ、法王庁遺跡と夜のフェスティバル等を観光）。

更に TGV でニースに移動し、近郊の避暑地（ヴィル・フランシュ）で 3 泊 4 日過ごし、ニース山上のローマ遺跡内特設劇場でロミオとジュリエットを鑑賞した後、翌日から夫婦単位でニースの美術館、海岸・街中散策、モナコ散策、ショッピングなど気ままな日々を過ごし、6 月 27 日、ニース→ドゴール→金浦→成田、28 日、無事帰国した。

（ニース出発日、エールフランスがストライキでパリに戻れるか否か、悩まされ、何とか半日遅れでフライト可能となったが、パリの予定はキャンセルした。過ぎればこれも旅の楽しい体験でした。）

200 号記念に寄せて、17 年前のデジカメとの出会い、パソコン通信（インターネット）を活用した旅体験など、青空会ニュース 200 号の変遷を我が身に置き換えて振り返ってみた。次の 300 号までにどんな体験ができるか??

青空会の益々の成長・発展を祈念すると同時に、色々なチャンスを生かし、挑戦し、楽しい体験が、残り人生の彩りに成ったらと思う次第です。

001



002



003



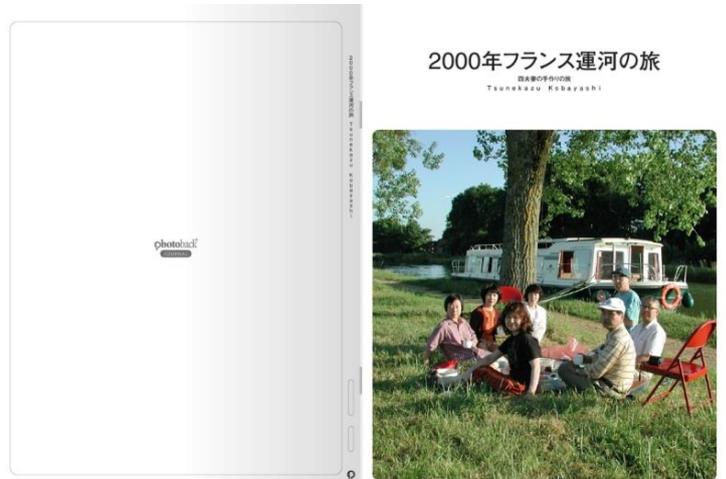
004



005



006



007



4組の夫婦による
手づくりの
フランス旅行

新行内 雅博
Masahiro Shingyouji

インターネットで旅行計画!
ツアーにはまらない新しいスタイルで、クルージングや高級別荘宿泊を体験。
120%満足の旅を自分の手で作り上げてみませんか?

008

COOLPIX990



総画素数 334 万画素 CCD の解像力を最大限に引き出す、新開発の 3 倍ズームニッコールレンズを搭載した COOLPIX990。5 つのフォーカスエリアで任意にポイントを狙い、素早くピントを合わせるマルチエリアオートフォーカスや、ホワイトバランスはもちろん、階調補正・エッジ強調まで総合的にコントロールするマルチオートホワイトバランスを新たに採用。

さらに、絞りやシャッタースピードが細かく設定できるマニュアル露出モードや QVGA サイズ 15fps で最長 40 秒間の動画撮影など、充実の新機能を満載しています。

主な仕様 **アクセサリ**

● 希望小売価格(税別) ¥125,000

(レンズキャップ・ストラップ・ビデオケーブル・コンパクトフラッシュカード(8MB)・単 3 形アルカリ乾電池 4 本・使用説明書 付)

ソフトウェアダウンロード